

掛川市行財政改革審議会 平成24年度の総括と平成25年度の進め方について（案）

掛川市行財政改革審議会
会長 伊藤 鋭一

1 平成24年度の総括

(1) 運営方針

平成24年4月1日に第2期行財政改革審議会が発足した。審議会では、現下そして今後予想される厳しい情勢を克服しながら、将来の社会保障費や新たな投資を確保し、「明るく、住みやすく、未来豊かな希望のみえるまち」を後世に引き継いでいくため、これまでの行政運営の手法のままでは明らかに通用しないという認識に立ち、次の5つの運営に関する基本理念を掲げ活動を行った。

1. 明るく、住みやすく、未来豊かなまちづくり
 - ・過去の経緯も重要であるが、むしろ「現在及び未来」志向。
2. 「柔軟な発想」で思い切った改革
 - ・行財政運営手法など既存体系の見直し・再構築（リストラクチャリング）。
3. 現有資源の確認と最大限の活用
 - ・ポテンシャルを活かした地域社会の「安心・安全・成長」を誘導。
4. 「協働」無くして成功無し
 - ・「市民協働」をあるべき地方自治の姿と捉えた審議。
 - ・市民・実業界・議会・行政・審議会が一つの「燃える組織」となって、行革に邁進。
5. 「職員の改革マインド」の向上
 - ・改革の主役は一人一人の職員。その士気を高め、意識を変革。

(2) 活動状況

豊かな掛川市を将来に引き継いでいくためには、「経常的な経費の削減」と「自主財源の増強」の両輪で行革を進める必要があるという認識から、第2次改革プランに盛り込むべき内容について、二つの分科会を設置し検討を進めた。

- 分科会Aテーマ「経常的な経費の見直し・刷新」
- 分科会Bテーマ「自主財源の増強」

時 期		審 議 会	分 科 会
平成24年	4月25日	第1回審議会 ・ 諮問 ・ 第1次改革プランの進捗状況について	
	5月23日	第2回審議会 ・ 諮問事項に対する今後の審議会の進め方等について	第1回分科会A ・ 方針・評価の視点等の検討 第1回分科会B ・ 議論の方向性の確認

6月26日	第3回審議会 ・各分科会の検討状況報告	第2回分科会A ・数値目標・公債費の取扱検討 第2回分科会B ・収入項目・状況ヒアリング
7月17日		第3回分科会B ・検討テーマの設定
7月24日	第4回審議会 ・各分科会の検討状況報告	第3回分科会A ・補助金の検討 第4回分科会B ・財産管理状況等のヒアリング
8月8日		第4回分科会A ・補助金の検討
8月9日		第5回分科会B ・検討テーマ別の具体案検討
8月30日	第5回審議会 ・財政健全化判断比率の状況 ・各分科会の検討状況報告	第5回分科会A ・補助金の検討 第6回分科会B ・検討テーマ別の具体案検討
9月10日		第7回分科会B ・企業誘致現場見学・意見交換
9月13日		第6回分科会A ・補助金、市業務の検討
9月26日		第7回分科会A ・市業務の検討 第8回分科会B ・調査結果と具体案の評価
10月10日		第9回分科会B ・検討まとめ
10月11日		第8回分科会A ・市業務の検討
10月17日		第9回分科会A ・市業務の検討
10月24日	第6回審議会 ・各分科会の検討状況報告	第10回分科会A ・指定管理施設の検討 第10回分科会B ・検討結論骨子の確認
10月31日		第11回分科会A ・指定管理施設の検討
11月6日		第12回分科会A ・指定管理施設の検討

11月8日		第11回分科会B ・検討結論案作成
11月13日		第13回分科会A ・全体評価結果の検証
11月26日	第7回審議会 ・各分科会検討結論の全体協議	
12月6日	第8回審議会 ・各分科会検討結論の全体協議 ・提言まとめ	
12月26日	第9回審議会 ・提言書提出	
2月19日	第10回審議会 ・次年度活動に対する意見交換	
3月18日	第11回審議会 ・今年度活動の総括 ・今後の進め方について	

(3) 活動の結果

① 審議会

- ・平成24年12月26日 提言書提出

固定的な経費17億円を削減するという市行革目標の達成のため、協働の精神に立脚した市業務の再構築という観点で具体的手段を提案するとともに、市歳入構造の分析と地域資源の整理を行いながら、収入増につながるアイデアを提案。

② 市側の対応

- ・審議会の提言内容は、事務を少々見直した程度では達成できる内容でなく、自治基本条例の精神を根底に行政運営の進め方・組織が大きく変わるような見直しと、従来の発想を転換し、知恵を絞った収入増加策を盛り込むコンセプトで第2次改革プランの策定を開始。
- ・広報かけがわ（平成25年2月号）や市ホームページにより、審議会提言内容を広く市民に報告。

(4) 平成24年度を振り返って

①市が策定予定としていた第2次改革プラン（平成25年度～28年度、4年間）に提言内容を反映させるべく、厳しい日程ではあったが委員全員全力を傾注し、提言書の提出までこぎつけることができた。

②「経常的経費の見直し・刷新」に関しては、業務の評価基準を議論、検討し、数値で示す方法を考察、結果に結びつけた事は大きな成果であった。

③又、歳入にメスを入れ、市民目線で項目毎の現状と課題を整理し、地域資源の確認と有効活用を促し、まちの活性化を含めた自主財源増強のための具体的施策を提言できたことも他に例をみない意義深いものがあった。

④上記二つのテーマ、どちらについても当然ながら市長マニフェストにある「協働」の理念無くしては実現不可能であり、行政職員はもとより、市民全員が目標とする

「明るく、住みやすく、未来豊かなまちづくり」に向かって、一丸となって邁進していくことが求められる。

2 平成25年度の進め方について（案）

(1) 基本的な方針

- ・市には、審議会の提言内容をしっかり第2次改革プランに反映させ、危機意識と協働の心を念頭に、市を挙げて最大の努力を傾注していただく。
- ・審議会は、市の改革の取り組み状況を随時チェックする。
- ・重要なテーマについては、市の取り組みとは別に審議会が調査・審議を行う。

(2) 具体的な進め方

①審議会

- ・市のプランや見直し作業の経過をチェックし、また見直し結果を審議する。
- ・重要度が高いテーマを選定し、これについて検討する。

②市への要請事項

- ・早期に第2次改革プランを策定し、審議会に示すこと。
- ・プランに従い、見直し作業を計画的に進め、見直し結果を審議会や市民に報告すること。また、結果は随時予算編成等に反映させること。

(3) 審議会の検討テーマ等

①検討テーマの選定

②日程、時間配分

③その他重要な個別検討事項

上記①、②は、各委員に対しアンケート調査を実施。

【各委員から提案のあった検討テーマ】

検討テーマ	内 容
1 学校給食経費の低減策	設備償却を入れて実態調査を行い、サービスレベルの確保と経費の低減策を探る
2 スポーツ施設の収支バランス改善	管理運営費用を分析、民間スポーツ施設運営会社と比較することで課題を明確にし、解決策を探る
3 財政の複式簿記化	市の予算決算を複式簿記化することで、財政の現状を見える化して課題を整理
4 企業自治体のための組織のあり方	市民サービスの観点ではなく、「企業」の観点でみた時の行政組織の具体的な見直し方策を探る
5 協働のあり方検討	自治基本条例の制定に伴い、地域活動と人材育成を含んで市の立ち位置を明らかにする
6 儲ける事業の提案	中心市街地、農業・林業、観光、企業誘致、交通基盤など収入増となる施策のあり方を探る
7 提言事項のモデル事例研究	提言の中から代表事例を選定し、具体化に向けた道筋を市職員と一緒に議論し、改革モデルを提案
8 規制緩和等による活性化モデル研究	規制緩和による土地利用増進、業務商業集積による新都市開発など活性化モデルを市職員と一緒に研究

9 市業務の協働化のガイドライン策定	協働化業務の仕様決定とその前提条件、手続き・監督行為の簡素化、担い手組織の具備条件などを提案
--------------------	--

(4) 現状におけるスケジュール

時 期		審 議 会	市
平成25年	4月	◆テーマの検討開始・市の見直し状況チェック	◇改革プラン策定・見直し実施
	5月	◆市改革プランの審議	
	6月		◇実施計画編成
	7月		
	8月		
	9月	◆テーマが二つの場合、この時期頃に一つ目を結論	◇H24決算まとめ
	10月		◇行革フォーラム (市の見直し状況報告)
	11月		◇H26予算要求・編成 (10～1月)
平成26年	12月		
	1月		◇行革フォーラム (市の見直し状況報告)
	2月	◆テーマが二つの場合、この時期頃に二つ目を結論	
	3月	◆2年間の総括、最終提言書提出 (※委員任期の満了)	◇改革プラン年度終了評価 ◇広報・HP等で市民に報告